

県産イヨカンでサイダー

松山大生と企業が共同開発



開発した県産イヨカン入りのサイダーをアピールする松山大の学生

いに仕上げた。

22日は松山市大街道1丁目の商店街で、学生がブースを出して買い物客にアピール。経済学部4年の北嶋大学(ひろさと)さん(23)は「主流の宮内イヨカンではなく、従来のイヨカンを使って風味を出した。まずは地元の人に飲んでもらいたい」と話していた。

希望小売価格は1本340円(税込み)で300円(税込み)。関東を中心に県外のスーパー

のほか、松山大の生協や、西条市の松山自動車道石鎚山サービスエリア(上り)などで販売する。(丸岡裕美)

を共同で開発し、22日に発表した。

松山大の社会人基礎力育成事業の一環で、同社との商品開発は4

品目。イヨカン果汁10%で、甘酸っぱい味わ

松山大の学生と農産物販売「のうみん」(松山市勝岡町)が、県産イヨカンを使ったサイダー「伊予香(いよか)」